

白井中学校だより

編集・発行
佐倉市立
白井中学校
〒四八九・五六三五
第十号

夢を叶える ～キャリア教育の充実～

校長 澤田 法義

先日のある寒い朝、ふと校門の桜の芽の膨らみが目に入り、桜も春を迎える準備をしていることに小さな感動を覚えしました。「三寒四温」という言葉通り、手袋をしていても手がかじかむ極寒の日もあれば、上衣を一枚脱ぎたくなくなるくらい寒さが和らぐ日もあります。少しずつですが春は近づいています。目に見えなくとも土の中で、確実に根を伸ばしている草花のように、本校の生徒たちも令和6年度の進学・進級に備えて着実に力をつけているところです。

さて、昨年の12月に、2学年で、キャリア教育の学習の一環として「職業人に聞く」というテーマで、5人の講師をお招きし、ご講話いただきました。生徒の感想の一部を紹介いたします。

「どの仕事においても、営業時間外で私たちが知らないところで活動しているんだと、はじめて知ったと同時に大変さを感じました。…質疑応答では、『楽しい』と言っていて

《生徒数》

1年	95	名
2年	120	名
3年	114	名
計	329	名

※発行日現在

来、自分が好きなことや、やりがいを感じられる仕事ができるよう今できることを精一杯頑張ります」

「講師の先生のお話を聞いて、『経験にお金を使うべき』という言葉に感銘を受けました。講師の先生の体験は、私の持つ目標に似ていて役立てたいと思いました。広い視野を持ち、様々な視点から物事を考え、お客様に感動を提供するために工夫しているところに憧れの気持ちを持ちました。そして小さな目標設定をするという講師の先生からお聞きしてから毎日目標を立てて、それを達成できるように生活しています。『達成感』という気持ちを日々感じて過ごしていると、清々しくなり、もっと大きな目標を立ててみたいと思います。語学・旅行が好きで私にとってこの講座はとても有意義な時間となりました。『やらない後悔より、やった後悔』になるように様々なことに興味を持ちチャレンジしながら、躍進したいと思います」

今の子供たちが、成人し社会で活躍する

とても羨ましいと思ってしまいました。私の好きな言葉に『楽しんでいる者には勝てない』という一部分があるように楽しむことが大事だと改めて思いました。私も将

10年後、20年後には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や、絶え間ない技術革新等により、社会は急速に変化し、特にAI(人工知能)の出現により、これからの社会がどうなっていくか予想困難な時代となります。

このような時代にあって、様々な変化に対応していく力、多くの情報を見極める力、人生の分岐点でより良い選択ができる力など、将来自立した社会人となるための教育が求められていると思います。

白井中の生徒たち全員が、将来に渡って夢を持ち、叶えるための目標を意識した生活ができるように、発達段階を踏まえたキャリア教育の充実をさせていきたいと思えます。

◇2月の予定

- ※2月13日(火)学級優先日
- ※2月14日(水)生徒委員会
- ※2月15日(木)一斉下校
- ※2月19日(月)～21日(水) テスト前諸活動停止
- ※2月21日(水)1・2年定期テスト 給食なし 一斉下校
- ※2月22日(木)1・2年定期テスト 給食なし 一斉下校 いじめアンケート 給食なし
- ※2月26日(月)一斉下校
- ※2月28日(水)1・2年実力テスト

◇学校評価について

先日は、学校評価にご協力いただきありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

今回の学校評価では、「大いであてはまる」「あてはまる」「のパーセントを合わせたものを」「肯定的な意見」のパーセントとし、「あてはまらない」「全くあてはまらない」

このパーセントを合わせたものを「肯定的な意見」のパーセントとしました。「肯定的な意見」のパーセントから「否定的な意見」のパーセント数を引いた数が小さいものほど、「否定的な意見」のパーセント数が高いので、これを課題とし、「課題順位」をつけました。

今年度の傾向としては、31番「障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている」、30番「ユニバーサルデザインの視

点から、授業や校内環境は整備されている」、29番「むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている」やの項目で「わからない」という回答が多くありました。また、5番「家庭で、予習または復習などの学習習慣が付くような手立てをとっている」や9番「必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている」に「否定的」な意見が多い傾向がありました。

質問		肯定	否定	わからない	ポイント	課題意識	肯定的			否定的			わからない		
							肯定	否定	わからない	肯定	否定	わからない	肯定	否定	わからない
1 教育目標や教育方針がわかりやすく伝えられている。	保護者	78%	9%	12%	69	20	78%	9%	12%	92%	8%	0%	85%	0%	0%
	教職員	92%	8%	0%	83	22	92%	8%	0%	92%	8%	0%	85%	0%	0%
2 教育目標や教育方針が適切である。	保護者	77%	8%	14%	69	19	77%	8%	14%	88%	8%	4%	88%	8%	4%
	教職員	88%	8%	4%	79	17	88%	8%	4%	88%	8%	4%	88%	8%	4%
3 教育目標達成のために、生徒の状況をよく把握し学校経営を行っている。	保護者	71%	10%	18%	61	16	71%	10%	18%	83%	13%	4%	83%	13%	4%
	教職員	83%	13%	4%	71	13	83%	13%	4%	83%	13%	4%	83%	13%	4%
4 学校で、家庭学習の習慣が付くような取り組みができています。	保護者	68%	17%	14%	51	9	68%	17%	14%	75%	21%	4%	75%	21%	4%
	教職員	75%	21%	4%	54	7	75%	21%	4%	75%	21%	4%	75%	21%	4%
5 家庭で、予習または復習など学習習慣が付くような手立てをとっている。	保護者	59%	30%	11%	28	1	59%	30%	11%	58%	25%	17%	58%	25%	17%
	教職員	58%	25%	17%	33	1	58%	25%	17%	58%	25%	17%	58%	25%	17%
6 定期テストや実力テストに向かってしっかり取り組んでいる。	保護者	77%	17%	4%	60	15	77%	17%	4%	75%	21%	4%	75%	21%	4%
	教職員	75%	21%	4%	54	6	75%	21%	4%	75%	21%	4%	75%	21%	4%
7 学習や生活に対する評価は適切に行われている。	保護者	80%	8%	11%	72	22	80%	8%	11%	92%	8%	0%	92%	8%	0%
	教職員	92%	8%	0%	83	20	92%	8%	0%	92%	8%	0%	92%	8%	0%
8 進路や将来の生き方について適切に指導している。	保護者	66%	11%	22%	55	12	66%	11%	22%	88%	8%	4%	88%	8%	4%
	教職員	88%	8%	4%	79	17	88%	8%	4%	88%	8%	4%	88%	8%	4%
9 必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている。	保護者	59%	23%	16%	36	4	59%	23%	16%	96%	0%	4%	96%	0%	4%
	教職員	96%	0%	4%	96	28	96%	0%	4%	96%	0%	4%	96%	0%	4%
10 特別に支援が必要な生徒など一人ひとりを大切にしたい指導を行っている。	保護者	51%	7%	41%	44	7	51%	7%	41%	92%	4%	4%	92%	4%	4%
	教職員	92%	4%	4%	88	25	92%	4%	4%	92%	4%	4%	92%	4%	4%
11 基本的な生活習慣を身につけさせ、社会性を育てている。	保護者	87%	5%	5%	82	30	87%	5%	5%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
	教職員	100%	0%	0%	100	29	100%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
12 相手の立場を考えて行動する等、豊かな心を育む指導を行っている。	保護者	80%	7%	11%	73	24	80%	7%	11%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
	教職員	100%	0%	0%	100	29	100%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%
13 食の重要性を伝え、健康・体力の保持増進に努めている。	保護者	79%	5%	13%	74	25	79%	5%	13%	85%	4%	8%	85%	4%	8%
	教職員	100%	0%	0%	100	29	100%	0%	0%	92%	8%	0%	92%	8%	0%
14 学校行事は、生徒が主体となり充実した活動になっている。	保護者	85%	4%	8%	82	30	85%	4%	8%	81%	3%	15%	81%	3%	15%
	教職員	92%	8%	0%	83	20	92%	8%	0%	96%	4%	0%	96%	4%	0%
15 交通安全指導や避難訓練等を含めて、健康で安全な生活が送れるように配慮されている。	保護者	81%	3%	15%	77	26	81%	3%	15%	79%	7%	12%	79%	7%	12%
	教職員	96%	4%	0%	92	26	96%	4%	0%	75%	11%	12%	75%	11%	12%
16 学校参観週間や授業参観日・保護者会等の時期は適切である。	保護者	79%	7%	12%	72	23	79%	7%	12%	79%	21%	0%	79%	21%	0%
	教職員	79%	21%	0%	58	9	79%	21%	0%	84%	6%	6%	84%	6%	6%
17 学校生活の決まりは、現在の社会通念に照らして、合理的なものである。	保護者	75%	11%	12%	64	18	75%	11%	12%	88%	13%	0%	88%	13%	0%
	教職員	75%	21%	4%	54	7	75%	21%	4%	67%	10%	19%	67%	10%	19%
18 服装や礼儀への適切な指導ができています。	保護者	84%	6%	6%	79	27	84%	6%	6%	87%	6%	3%	87%	6%	3%
	教職員	88%	13%	0%	75	14	88%	13%	0%	79%	4%	17%	79%	4%	17%
19 一人ひとりを理解し、個性を大切にしている指導ができています。	保護者	67%	10%	19%	56	13	67%	10%	19%	84%	3%	9%	84%	3%	9%
	教職員	88%	13%	0%	75	14	88%	13%	0%	77%	8%	8%	77%	8%	8%
20 お子さんは楽しく学校生活が送れている。	保護者	87%	6%	3%	81	29	87%	6%	3%	75%	17%	4%	75%	17%	4%
	教職員	79%	4%	17%	75	16	79%	4%	17%	77%	8%	8%	77%	8%	8%
21 お子さんと教師との関係は良い。	保護者	84%	3%	9%	81	28	84%	3%	9%	75%	17%	4%	75%	17%	4%
	教職員	88%	0%	13%	88	23	88%	0%	13%	70%	9%	4%	70%	9%	4%
22 いじめなど大きな問題行動はなかった。	保護者	77%	8%	8%	69	21	77%	8%	8%	62%	9%	25%	62%	9%	25%
	教職員	75%	17%	4%	58	11	75%	17%	4%	67%	9%	25%	67%	9%	25%
23 部活動は子どもにとって楽しく、積極的に参加している。(3年生はこれまでの様子で記入、未加入の場合は未記入で結構です)	保護者	70%	9%	4%	61	16	70%	9%	4%	62%	9%	25%	62%	9%	25%
	教職員	75%	8%	13%	67	12	75%	8%	13%	59%	14%	23%	59%	14%	23%
24 教職員は子どもたちと向き合う時間が確保できています。	保護者	62%	9%	25%	53	11	62%	9%	25%	88%	8%	4%	88%	8%	4%
	教職員	67%	33%	0%	33	2	67%	33%	0%	63%	11%	21%	63%	11%	21%
25 本校の教育活動に関する情報が、家庭や地域に伝わっている。	保護者	59%	14%	23%	44	8	59%	14%	23%	67%	17%	17%	67%	17%	17%
	教職員	88%	8%	4%	79	17	88%	8%	4%	66%	9%	20%	66%	9%	20%
26 地域にとって身近で開放感のある雰囲気を持っている。	保護者	63%	11%	21%	52	10	63%	11%	21%	92%	0%	8%	92%	0%	8%
	教職員	67%	17%	17%	50	5	67%	17%	17%	52%	8%	35%	52%	8%	35%
27 学校は保護者の悩みや相談を親身に対応している。	保護者	66%	9%	20%	57	14	66%	9%	20%	79%	21%	0%	79%	21%	0%
	教職員	92%	0%	8%	92	26	92%	0%	8%	38%	2%	56%	38%	2%	56%
28 学校経営評価を的確に分析し、さらなる改善・向上に活かしている。	保護者	52%	8%	35%	43	6	52%	8%	35%	92%	4%	4%	92%	4%	4%
	教職員	79%	21%	0%	58	9	79%	21%	0%	41%	11%	43%	41%	11%	43%
29 むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている。	保護者	38%	2%	56%	36	4	38%	2%	56%	67%	25%	8%	67%	25%	8%
	教職員	92%	4%	4%	88	23	92%	4%	4%	35%	7%	54%	35%	7%	54%
30 ユニバーサルデザインの観点から、授業や校内環境は整備されている。(※ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいう。)	保護者	41%	11%	43%	30	3	41%	11%	43%	67%	25%	8%	67%	25%	8%
	教職員	67%	25%	8%	42	3	67%	25%	8%	35%	7%	54%	35%	7%	54%
31 障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている。	保護者	35%	7%	54%	29	2	35%	7%	54%	67%	21%	8%	67%	21%	8%
	教職員	67%	21%	8%	46	4	67%	21%	8%	67%	21%	8%	67%	21%	8%